

中学校第3学年道徳学習指導案

日 時 平成25年 6月28日(金)

指導者 教諭 生田 誠

1 主題名 「情報を守る」(4-(1) 遵法、権利義務、社会の秩序と規律)

資料名 「美奈のプロフ」

2 題材について

(1) ねらいについて

自分自身で携帯電話やスマートフォンを所持している、または使用できる環境にある生徒が増加してきている。また、特定の無料通話アプリケーションを中心にいろいろな問題事象が本校でも明るみになってきた。携帯電話等への依存はもちろんのこと、大人が気付きにくい閉鎖空間でのトラブルなど、問題行動の未然防止策を早急に講じなくてはならない。中学生の時期の友人関係はつながりが希薄であることが多く、些細なことから悩みを抱えることも少なくない。無料通話アプリ等で不特定多数の人とコミュニケーションをとろうとしている生徒も少なからずいる。このような中で、マナーやきまりを守らないことによって、生徒は様々な危険にさらされる可能性がある。

本資料はプロフの公開をきっかけに起こった心配事を機に親に相談し、被害者になる可能性を回避できたという話題である。この題材を通して、自分の日常生活を振り返り、法やきまりについて考えるとともに、法やきまりは自分たちの生活や権利を守るためにあるということを十分に理解して、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲と態度を育てることをねらいとする。

(2) 生徒の実態について

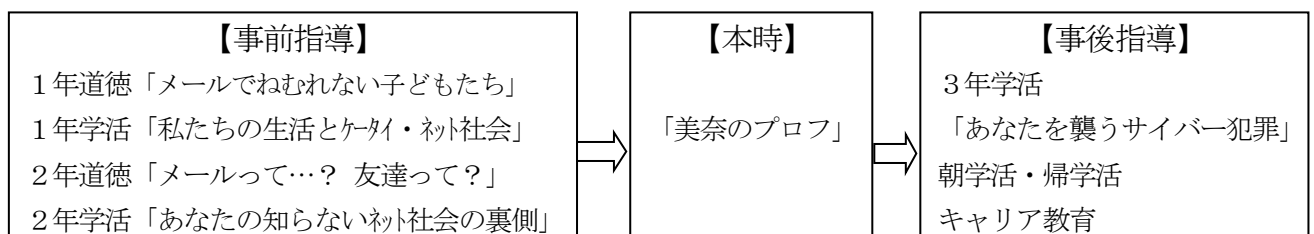
(3) 指導にあたって

- 事前アンケートをとることで、実態にできるだけ即した展開ができるようにしたい。
- スマートフォン所有者だけではなく、音楽再生端末等での無料アプリ利用も話題に挙げて、どのような使い方が被害者にも加害者にもならないのかを考えさせたい。

3 主題の目標

法やきまりは自分たちの生活や権利を守るためにあることを理解し、それを遵守しようとする態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の展開

(1) 目標

情報通信機器の良い点や問題点を把握し、その上で好ましい情報の受信・発信をするためのルールやマナーについて考えることができる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問（T） 予想される児童の反応（C）	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 10 分	1 学級の実態について知る。	○ スマートフォン利用率、その他の情報端末利用率等についての調査結果を提示する。	パワーポイント
	2 SNSや無料 I P アプリ等の良い点や問題点を発表する。	○ 問題点だけに終わらず、良い点と考えられる部分も出させる。	
	好ましい情報の受信・発信をするためのルールやマナーについて考えよう。		
展開 25 分	3 「美奈のプロフ」を読む。		ワークシート
	4 両親に叱られた時の美奈の気持ちを想像する。 (C) 私だけでなく他もやっている。 (C) 約束を破ったけれど誰にも迷惑はかけていない。	○ 深く考えることなくやっていたということに気づかせる。	
展開 25 分	5 大学生からのメールを打ち明けたのはどんな気持ちなのか考える。 (C) 一人では解決できないという気持ち。 (C) 不安でたまらない気持ちを両親ならわかってくれると思った。	○ 不安なこと、自分では解決できないことが起こった場合には周りの大人に相談することが大切であることを伝える。	
	6 美奈がプロフを作ったことによって気づいたことについて考える。 (T) 美奈はプロフを作ったことによってどんなことに気づいたのでしょうか。 (C) プロフにもルールやマナーがある (C) 不特定多数の人が見るから発信する内容を考えなければならない。 (C) ルールやマナーを守ることは自分や相手の権利を守ることでもある	○ どうすればこのような事態に陥らなかったのかを考えさせたい。 ○ インターネット社会の中でもルールやマナーを守ることは最低ラインであることを自覚させたい。 ○ 無料 I P アプリのグループやメールなど一見閉ざされた中でのやり取りならば何を書いても良いのかについても考えさせる。	
終末 15 分	7 情報通信機器を使う上でのルールづくり、マナーの確認を行う。	○ 失敗して気付くのでは遅いということを強く意識させたい。	
	8 学んだこと、これから実践したいこと、感想を書く。		